

 交野市 プラスチックごみゼロ宣言

交野市では、『市民一人ひとりが輝く「みんなのかたの」は美しく・やさしく・たのしい環境のまち』を実現するため、市民・事業者・行政が協働して、環境保全活動に取り組んでいます。

安価で使いやすいプラスチックは、私たちの生活に欠かせないものとなっています。その一方で、不用意にポイ捨てされたレジ袋やペットボトルなどのプラスチックは、細分化されながら、河川などを通じて海へ流れ込んでおり、この細分化されたマイクロプラスチックによる海洋生物の汚染等、生態系に与える影響が地球規模での環境課題となってきました。

こうした海洋プラスチックの問題は、決して交野市においても無関係な問題ではありません。交野市には天野川をはじめ多くの河川が流れており、その水は淀川を通じ、やがて海へ流れていきます。プラスチックごみによる海洋汚染の解決・改善のためには、ポイ捨てをしない・させない環境づくりや、使い捨てプラスチック使用の削減に取り組むことが不可欠です。

そこで交野市は、プラスチックごみ等ポイ捨て防止の啓発活動や使い捨てプラスチックの削減に向け、4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の運動を推進し、「プラスチックごみゼロ」の実現のため、不断の取り組みを行うことをここに宣言します。

令和元年 7 月 7 日 交野市長 黒田 実

